



平成28年2月16日
海上保安庁

港則法施行規則の一部を改正する省令について ～京浜港東京区の信号板の位置が変わります～

京浜港東京区において、東京西航路の信号所の位置が変わることから、
(1) 信号所の名称及び位置並びに信号板の数及び角度を変更します。(別紙1)
(2) 京浜港東京区第二区及び第三区並びに京浜港東京東航路の表現に用いられている基点の変更を行います。(別紙2・3)
引き続き、京浜港東京区での安全運航にご協力をよろしくお願いいたします。

【施行日】

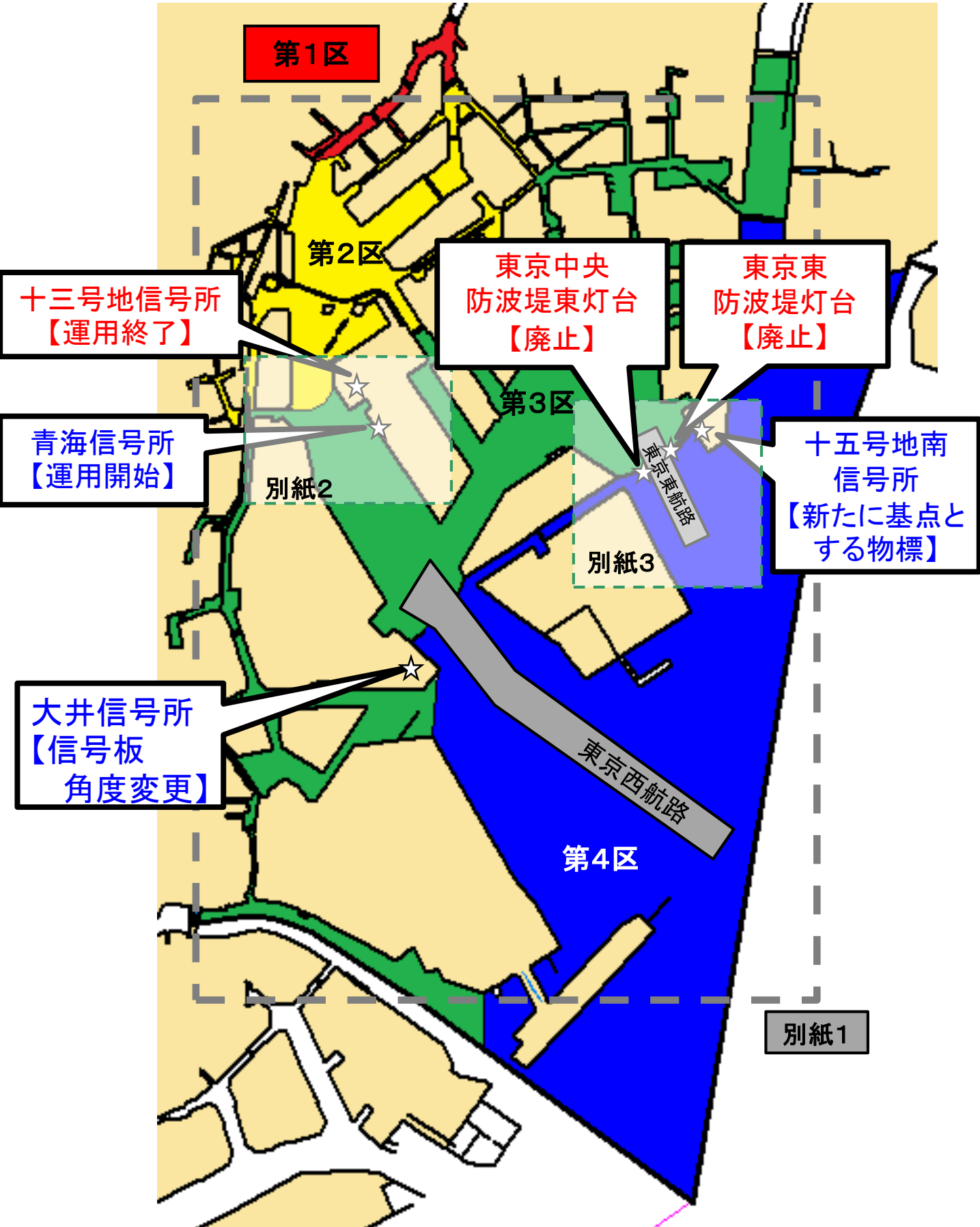
平成28年3月1日(火)

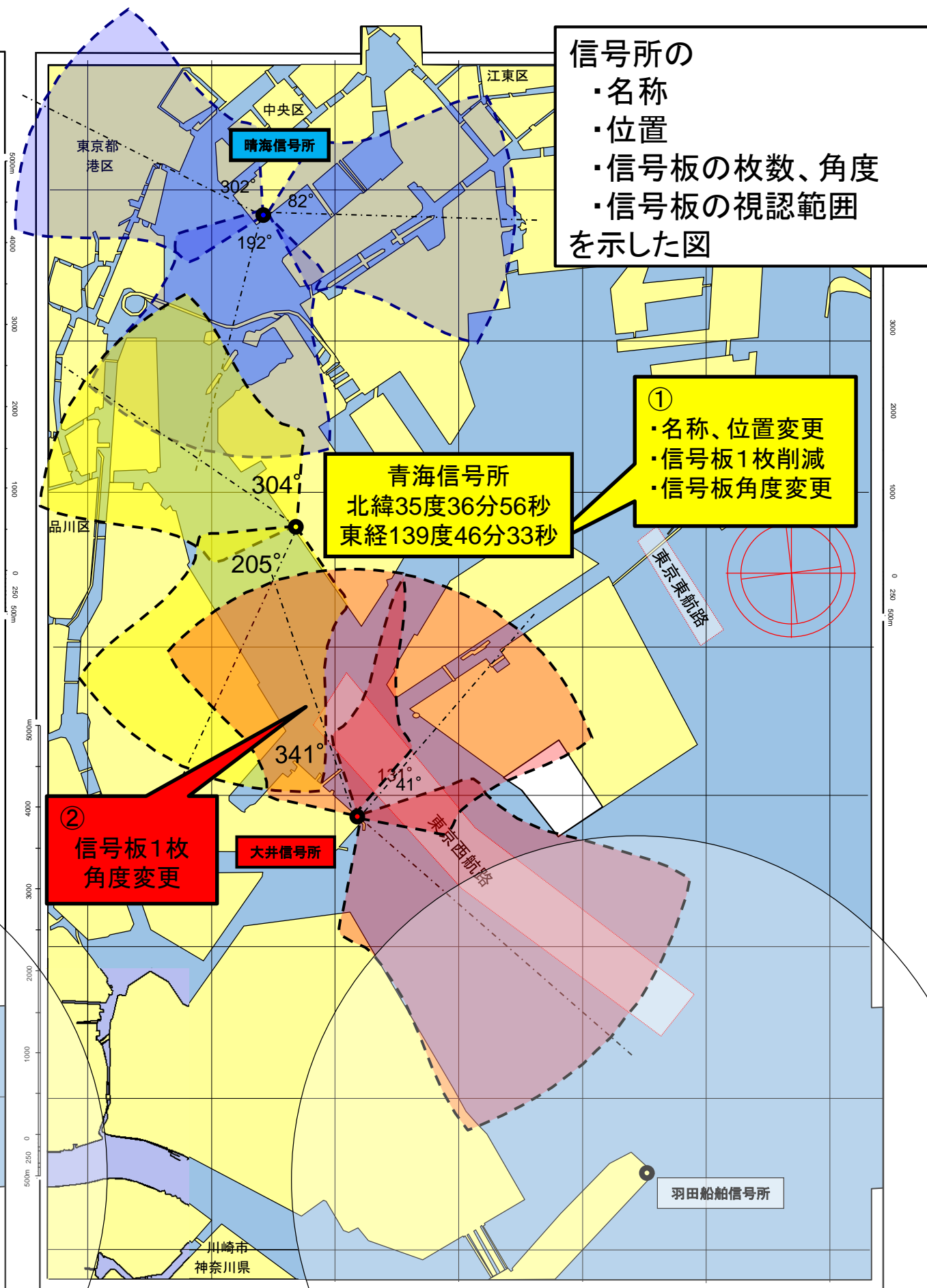
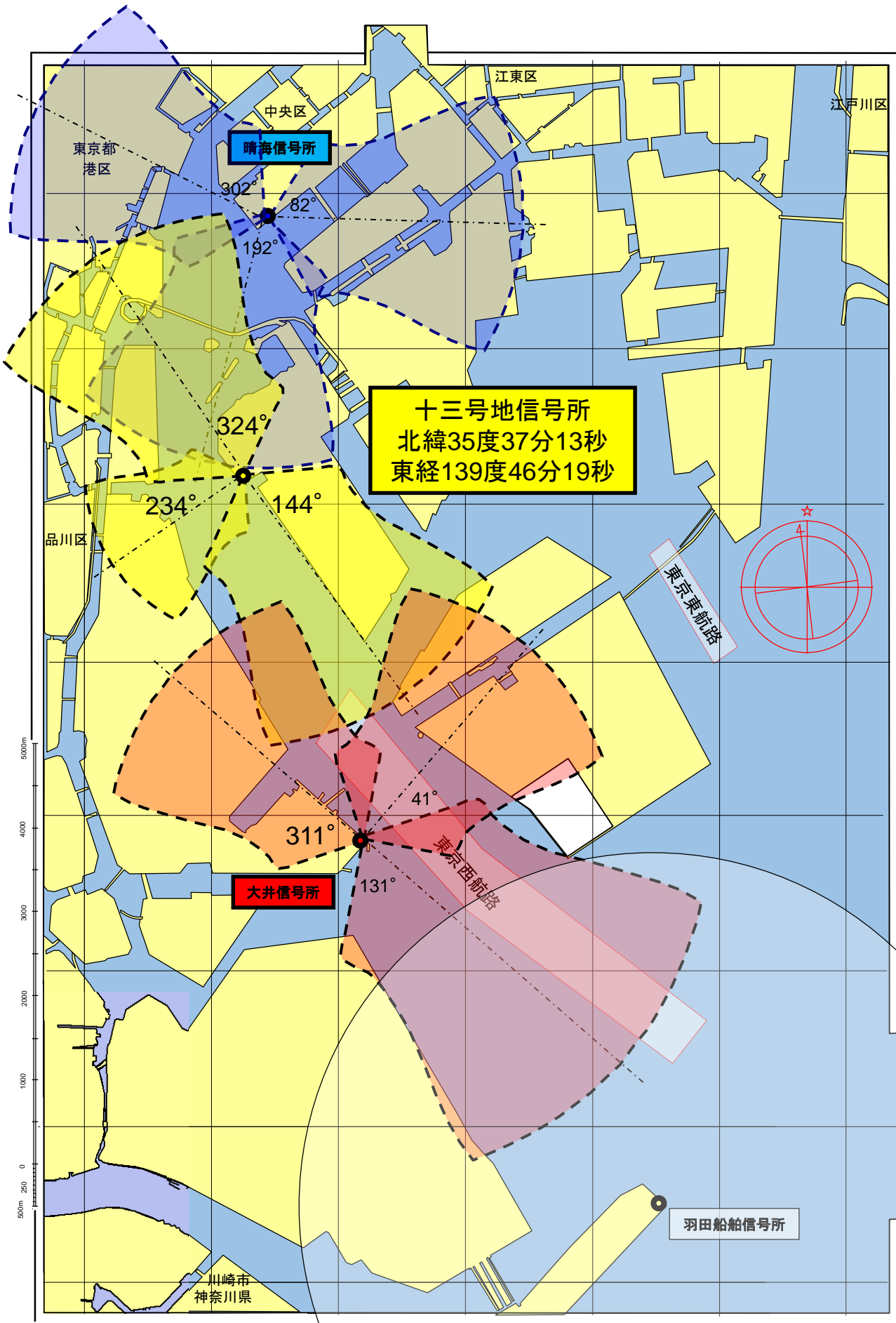
【参考】港則法等の概要

港内は、一定の水域に多数の船舶が頻繁に出入りし、かつ、停泊、荷役等を行う場所であることから、港内における船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、港則法(昭和23年法律第174号)において、船舶交通量が多い等の理由から船舶交通の規制等を行う必要のある500港を対象として、港内での停泊の制限、防波堤の入口又は入口付近での航法、工事作業の許可等の規制を課している。

港則法施行規則(昭和23年運輸省令第29号)は、法の規制の細目を定めたもので、船舶の停泊すべき区域、各港に出入りする際の航路の区域、管制信号を表示する信号所等を規定している。

京浜港 東京区 周辺図

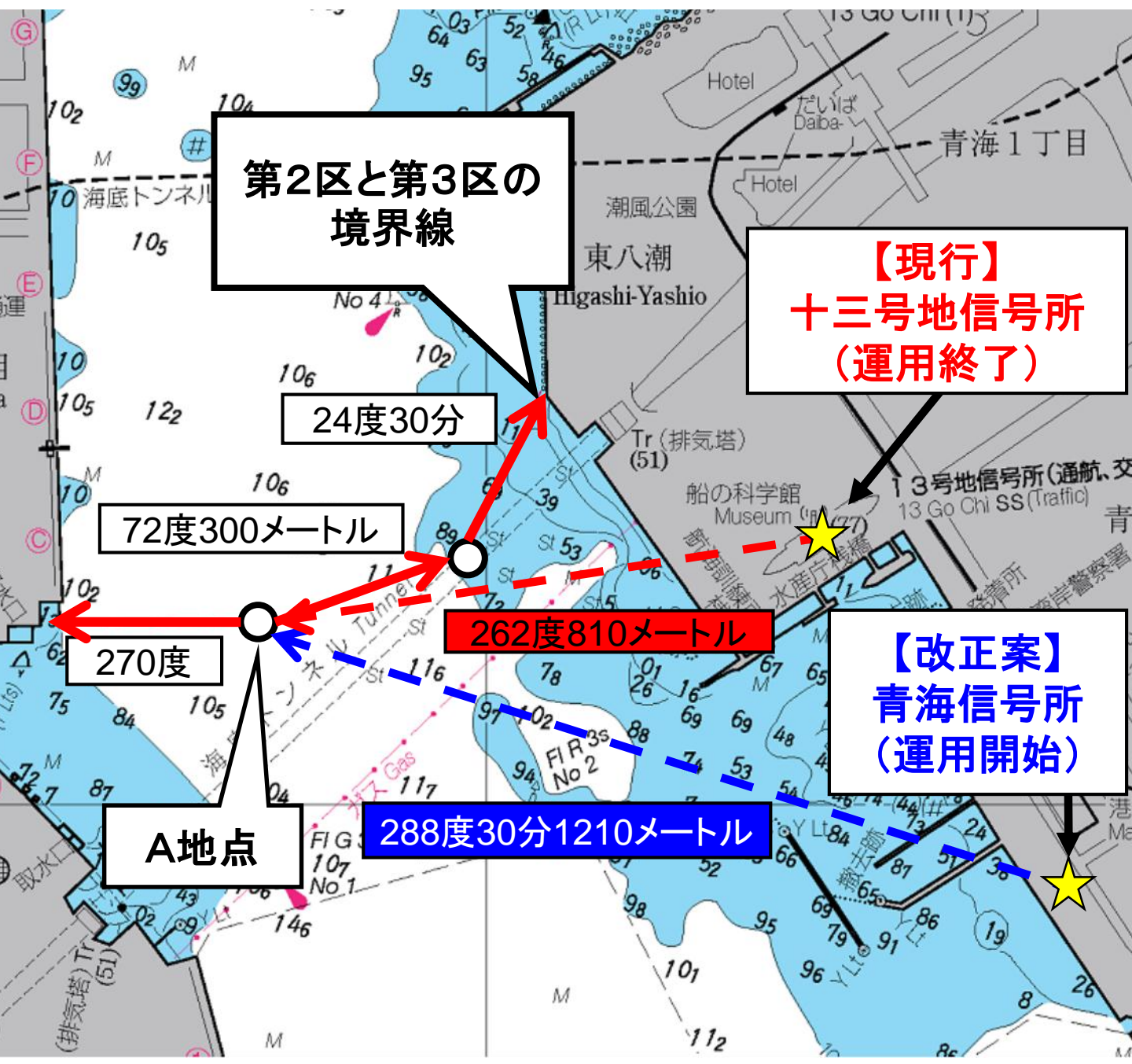




現行: 

改正案: 

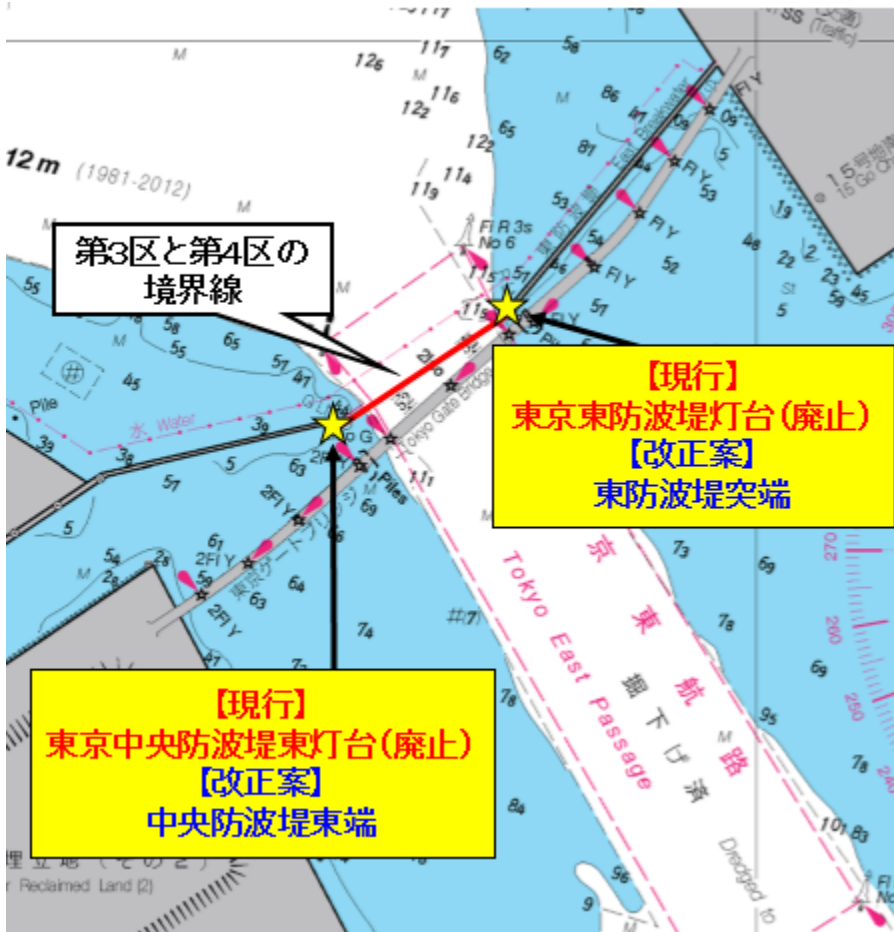
京浜港 東京区 第2区 改正箇所 周辺図



現行: 

改正案: 

京浜港 東京区 第3区 改正箇所 周辺図



京浜港 東京区 東京東航路 改正箇所 周辺図

